

第 98 回 男女共同参画会議 女性に対する暴力に関する専門調査会  
議事要旨

(開催要領)

- 1 日 時 平成 31 年 1 月 21 日 (月) 10:00～12:00
- 2 場 所 中央合同庁舎第 8 号館 5 階共用 C 会議室
- 3 出席者  
会 長 辻村 みよ子 明治大学法科大学院教授  
委 員 阿部 裕子 特定非営利活動法人かながわ女のスペースみずら理事  
同 井田 良 中央大学大学院法務研究科教授  
同 小西 聖子 武蔵野大学人間科学部長  
同 木幡 美子 株式会社フジテレビジョン放送文化推進局 C S R 推進室部長  
同 種部 恭子 公益社団法人日本産婦人科医会常務理事  
同 納米 恵美子 特定非営利活動法人全国女性会館協議会代表理事  
同 原 健一 佐賀県 DV 総合対策センター所長  
同 山田 昌弘 中央大学教授

(議事次第)

- 1 開 会
- 2 議 事
  - (1) 「セクシュアル・ハラスメント対策の強化について～メディア・行政間での事案発生を受けての緊急対策～」の取組状況について
  - (2) セクシュアル・ハラスメントに係る諸外国の法制度等について
  - (3) 報告書の骨子案等について
- 3 閉 会

(配布資料)

- 資料 1－1 セクハラ緊急対策の各府省庁における取組状況について  
資料 1－2 厚生労働省資料  
資料 2 アメリカのセクシュアル・ハラスメントに係る法制度  
資料 3 報告書骨子案

(議事概要)

- 「セクシュアル・ハラスメント対策の強化について～メディア・行政間での事案発生を受けての緊急対策～」の取組状況について、内閣府、人事院、内閣人事局、厚生労働省からそれぞれ発表の後、質疑が行われた。
- セクシュアル・ハラスメントに係る諸外国の法制度等について、平成国際大学山崎文夫名誉教授から発表の後、質疑が行われた。
- 報告書に盛り込むべき事項等について、委員全員から発言があった。